

【令和4年度 岐阜市立岩野田中学校 学校評価書】

市の重点項目	学校の重点項目	学校関係者評価委員会から
<p>全職員や地域コミュニティとの協働による積極的な指導体制を確立し、「チームとしての学校」を実現する</p>	<p>地域との協働活動や体験学習などの実施を通して、地域で生きるという実感を味わうとともに地域が育てる体験活動を推進する。</p>	<p>○地域と学校が一体となり取り組んでいる。 ○地域の行事に積極的に参加している。地域を知って、学んで行動に移している。 ○2年生職業講話は、地域に住んでいる方からお話を聞くことができ、「働くこと」が身近に感じられたのではないかと思います。 ●来年度は地域清掃活動ができると思います。</p>
	<p>管理職・いじめ対策監を中心として、よりよい人間関係を育む指導体制を確立する。</p>	<p>○協力体制ができている。 ○生活のちょっとした行き違いでうまく人間関係が築けない子もいるが、先生方はどうしたらいいかを常に考えていただいていると思います。</p>
<p>学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程を編成・実施・評価し、教育効果の最大化を図る</p>	<p>自分の考えを深めるためや、学びによって得た知識や技能をさらに深めるために、表現する場の設定を工夫し、「思考力」「判断力」「表現力」を育てていく。新学習指導要領の実施に伴い授業の見直しを進める。</p>	<p>○考え、判断し、行動する場面が増えた。 ○壁新聞方式でいろいろなテーマで各自思考力やまとめる力を鍛えていると思います。暗記型の学習に加えて、このような取り組みは子供たちにとっては大変だと思いますが、自分でやってみないことには力がつかないので大切なことだと思います。 ●挙手をして発表する表現力の工夫をしていけるとよい。</p>
	<p>タブレット端末を利用した学習を取り入れ、生徒の多様な学びにつなげる。積極的にICTを活用した学習を取り入れるよう職員研修を実施する。</p>	<p>○子どもたちは、生活の中にタブレット端末がある。先生方の活用研究等、試行錯誤を繰り返し対応よろしく申し上げます。 ●欠席したときに、オンライン授業を受けられるのはとても良いのですが、黒板が見えにくい、先生の声が聞き取りにくいと感じました。 ●導入してから制限がどんどん多くなり、調べものに支障をきたしていると思います。</p>

幼保小連携や小中一貫の考えのもと、ソーシャルキャピタルを活用した学校づくりを推進する	学校での学びと社会を接続するために、地域人材の力を積極的に活用し、子ども達の夢や希望を育む。	○社会の学びを積極的に取り入れている。今後、もっと地域住民を活用してください。
	学校だより、学校のホームページなどで行事予定や生徒の様子を地域に発信する。	○地域へ発信している。まちづくり協議会や自治会を活用してください。 ○スマート連絡帳を使って疑似的にプッシュ通知をしている状態になり、学校だよりを読む機会が増えました。
教育環境と学校財務環境を整備・管理し、有効に運用する	生徒にとって必要な掲示の内容を精選するなど、学習に落ち着いて向かう環境を作る。	○生徒たちは、落ち着いた環境で学んでいると思われる。 ●高校所在地の地図など掲示物が色あせたものがあるので作り直してもよいのではないかな。
	財務や納入金を適切かつ有効に運用できるように努める。(保護者への説明責任をはたす。)	○適切に運用されていると思います。
災害や事故等、多種多様な非常事態に対する安全性の確保をする	安全な学校施設を基盤に、「新型コロナウイルス感染症」の感染防止対策に重点を置き、学校の新しい生活様式を構築する。	○ウイズコロナで対応、対策をとっている。 ○制服登校から、体操服登校がよくなったところが良い。 ○なかなか感染が落ち着きませんが、気を使って対処されていると思います。
	自ら生命を守ろうとする意識を育てるための知識や方法を学ぶ場を設定する。 ・命を守る訓練 ・防災学習	○自ら命を守ろうとする場を設定していると思う。「災害は忘れたところにやってくる。」意識付けを継続してください。 ○1年生の防災・減災学習の講話(「私たちにできる防災・減災」)は、具体的な防災方法を知り、生かすことができる内容だったと思います。 ●保護者(家庭)と、意識を共有していくことが必要である。 ●通学路の危険な場所等を生徒が確認して地図にする活動があるといいと思いました。